

変革

Change the Concept
～ Neo Standard ～

雄飛

第34号 2008. 8月

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 水 康徳 編集責任者：梶村清子 34期広報委員会 印刷所：東京印刷㈱

ごあいさつ

鳥取県西部中小企業青年中央会、第34期会長を務めさせていただきます、水康徳です。どうぞ宜しくお願い致します。

今から遡る事4年前、当会は創立30周年記念事業を行い、前例や慣習にとらわれず、自らの価値観で行動すること、そして鳥取県西部のため積極的に発信するオピニオンリーダーたらんことを宣言しました。時を同じくして、県でも県青中統一事業が行われました。そこで時代に挑み、次代を創るというスローガンが決定されました。これらは、諸先輩方がそれぞれの時代にその時々の問題に正面から挑み、未来を志向し続けられた歴史を継承することを内外に知らしめるものでした。以来、当会はその歴史を踏まえ、宣言どおり、今日まで様々な事業を行ってきました。

今日、我々を取り巻く環境は大きく変化しています。戦後日本の驚異的な経済発展を成し遂げた仕組みや体制は、その変化に適合できていません。その結果、旧態依然とした体制や仕組み、価値観などのひずみから様々な問題や事件がうまれていきます。そのしわ寄せが地方経済にも影響を及ぼし、経済を疲弊させ、都市部との地域格差を広げる結果になっています。

このような現状を踏まえ、従来の価値観を突き破り、新しい時代を切り拓きたいという思いを明確に表したく、今年度当会のスローガンとして「変革」を掲げさせて頂きました。既存の仕組みや体制、価値観を変えるにはまず、そのコンセプトから見直す必要があります。そこでサブタイトルをChange the Conceptとしました。

そして活動テーマをNeo Standardとさせて頂きました。新しい時代のあるべき姿、基準とは何か、新たな価値を生み出し、次の時代に適合するためにはどうすべきかを会員全員で考えたいという思いを込めてこの言葉にしました。

当会はその責任において、鳥取県西部の豊かで希望に溢れる未来を築くために、我々ができる事はなにかを常に問い続けなければなりません。会員の諸君、1年間共に学び、行動し、研鑽していきましょう。

末筆になりましたがOB会の皆様ならびに当会関係者のみなさまには倍旧のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

1年間よろしくお願い致します。



鳥取県西部中小企業青年中央会

第34期会長

水 康徳

変革

Change the Concept

～ Neo Standard ～

副会長・専務理事抱負

山根 宏典



今年度、副会長を務めさせて頂く事になりました山根でございます。今年度の水会長のスローガン「変革」ですが、私なりに思う事は、これから迎えようとしている、新しい時代に対応できる社会を創造していければと考えております。

私が担当する委員会は、茅野康洋委員長のエリアデザイン委員会と森田篤委員長の環境問題委員会の2委員会を受け持つ事になりました。この2人は全く正反対の性格を持った委員長ですが、お互いに切磋琢磨し、周りを気にせず精一杯できることを表現して頂きたいと願っております。そして両委員会とも新しい社会を迎える為には必ず必要となる委員会である事は間違いないと思っております。そして委員会内では議論と体験をトコトンやって、悔いの無い一年間を過ごして頂きたいと思っております。

また、私もこの一年を通して2人の委員長を支えていける様に努力と勉強をして参りますので、皆様これからも宜しくお願い致します。

土岐 哲己



第34期の副会長を拝命いたしました土岐哲己でございます。

平成16年9月に入会して約4年間、あっという間に時は流れました。委員長、県出向理事、そして今期の副会長職と連続して重責をおおせつかり、引き続き会の運営に携わらせていただくことになりました。在籍期間は浅いですが、副会長という職の重要性と役割を認識し、私なりの、外見に似合わぬフレッシュな視点で、水会長の示された「変革」のスローガンの基、確実に職務をこなせるよう自己研鑽に勤めてまいりたいと思います。

さて、私の担当委員会は、ビジネス、政治行政の2委員会で、青年中央会の中であって、共に歴史ある委員会です。ビジネス委員会岩垣委員長、政治行政委員会茅野委員長をサポートし、スローガンに沿って両委員会が充実した活動をできるように努力していきたく思います。

最後に、今期は35周年の節目を控えた年度であり、30周年の記念行事後に入会した私にとって周年事業は未知の領域であります。OB、現役の皆様におかれましては、どうぞご指導ご鞭撻賜りますよう今後ともよろしくお願い申し上げます。

34期委員長抱負

Neoラ・ヴィ委員会

川端 今日子



この度、34期Neoラ・ヴィ委員会の委員長を拝命いたしました川端今日子です。

「道近しいえども行かざれば至らず、事小なりといえども為さざれば成らず」という筍子の言葉がありますが、委員長も「やってみなくてはわからない」という、楽観的な気持で引受けてしまいました。しかし、「Neoラ・ヴィ」という我が委員会名を桶村担当副会長に伺った時に頭の中が「?…」で一杯になってしまいました。この時だけは「やってみなくてもいいんじゃない」という気持ちになりましたが・・・。

その様な中で、水会長より「我々市民が近い将来に直面するであろう様々な問題を掘り起こし、これからの時代を楽しく快適に過ごす為の、賢い方法を模索する」という委員会の活動方針を頂き、Neo:未来の将来の、ラ・ヴィ:生活を子ども高齢者も楽しく快適に過ごす方法を考えていく事としました。

素敵な委員会メンバーとNeoラ・ヴィ委員会を1年間かけて模索しながら一緒に育てていきたいと思っております。委員長としては、今更ながらその責任の重さを痛感しているところです。

とにかく「やってみなくてはわからない」をモットーに楽しみながら1年間頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

エリアデザイン委員会

茅野 康洋



当エリアデザイン委員会は、鳥取県西部地区において、未だ未開拓の『オモロー!!』を西部青年中央会から一つでも多く発信できるよう日夜、発掘する活動を致しております。

皆様は、いかがでしょうか?例えば、「米子ってどんなところ?」と尋ねられた時、なかなか返答できない方が多いのではないのでしょうか?残念ながら、私自身、米子に生まれ育ちましたが、その中の一人です。今日、都会と地方との間には、様々な面においての地域格差がひらくばかりです。この鳥取県西部の各所におきましても、同様です。だからこそ、今なのです。

そこで、この地を魅力ある地元になるよう目指し、一つでも多く、地元は元より、県外へ向けて発信できるよう頑張っていきたいと思っております。

会員の皆様、また、ご家族の皆様からも、ご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

環境問題委員会

森田 篤



今年度、「環境問題委員会」委員長を務めさせて頂くことになりました森田篤です。昨年度、副委員長として環境問題について勉強させていただきました。今年度は昨年の活動を引き継ぎつつ、新たなことにも挑戦していきたく思います。

委員会テーマは「子どもたちの未来のために」とし、森の保全と活用について考察していきたく思います。今、森でどのようなことが起こっているのか、どのように保全していかなければならないのかを、われわれの目線で考え次世代へ伝えていければと思います。

不慣れなことも多く皆様にはご迷惑をおかけするとは思いますが、一年間よろしくお願い致します。

総務委員会

松田 幸紀



こんにちは!遂に7月に入り34期が正式に動き出しました。総務委員長を拝命致しました松田です。水会長よりお電話を頂き、約1か月半が過ぎ、日に日に委員長としての責任の重さを感じております。

中央会へ入会させて頂き5年目を迎えますが、初めての総務委員会配属、ましてや委員長!「やれるのか?」と悩みつつも、総務委員会のプロフェッショナル!中村専務理事をはじめ、委員会メンバー全員の力をお借りして、頑張るぞ!と言う気持ちでおります。

まだまだボヤ〜とですがトライしてみたい事もありますし、忙しいけど楽しい総務委員会を目指し、委員会メンバー全員に「総務委員会で良かった!」と言って頂けるよう努力していきたく思います。そして「達成感」溢れる1年間にしたいと思っております。

自分自身もこの1年間シッカリ成し遂げ、勉強し、一回りも二回りも成長出来ればと思っております。

最後になりますが、水会長、役員、委員長をはじめ、会員の皆様には1年間大変ご迷惑をお掛けすると思っておりますが、どうぞご協力のほどよろしくお願い致します!

副会長・専務理事抱負

桶村清子



第34期水会長の下、副会長を拝命いたしました桶村です。今年度スローガン『変革』テーマ『Neo standard』を具現化するべく、微力ながら会の運営に邁進いたします。

担当いたします二つの委員会は、常設の広報委員会と新設のNeoラ・ヴィ委員会です。Neoラ・ヴィ委員会は川端委員長が女性であるということもあり、その視点から「次世代の生活」の新機軸を静かな口調ながら大胆な行動で模索されるであろうと確信いたします。また、広報委員会は松本委員長が自由奇抜な発想と行動で広報誌とリニューアルされたホームページを使い、内だけでなく外へ向けた青年中央会の発信をするであろうと思います。

お二方の委員長が委員会に所属する会員と一丸となり、その事業を成し遂げられるよう、精一杯サポートすることが、自分のなすべき役目と考えております。

『蓋(けだ)し書己(すで)に学の根たり、而(しか)して書の根は乃(すなわ)ち人に在り』という言葉を読む度に、人の叡智はその人次第で限りなく広がり、深くなるように思います。今年度のこの大役を務めるにあたってそのことを念頭に置き、担当する委員会のみならず、青年中央会の叡智が広がり、深まるよう、日々精進いたします。皆さん一年間よろしくお願いたします。

中村臣成



第34期専務理事を務めさせていただく中村臣成です。第33期後藤公平副会長(事務局長)の下で見出された様々な諸問題を解決すると同時に、今まで以上に親会から自立した当会独自の運営体系の更なる構築を目指し、活動に注力したいと考えております。当会において初めて創設されました専務理事の役職ですが、入会して5年間、多くの活動に参加し、様々な方々と出会い、経験を積んできた事を十二分にいかせればと思います。現役会員同士の連携はもちろんの事として、新体制となったOB会員の皆様、各他団体・政治家の皆様等の橋渡しになる様に精一杯務める所存です。担当する総務委員会においては、単に内容を消化するのではなく、新入会員が多く在籍する中で、ひとつひとつの意味を十分に理解させた上での活動を目指します。また会員の皆様から納入いただいた会費が、事業計画書(案)並びに収支予算書(案)通りに執行されているかどうかを、会計担当理事と共に厳格に管理する事を誓います。水会長のサポート役に徹するだけでなく、当会の大切な役職として確立すべく励みますので、一年間よろしくお願致します。

を積んできた事を十二分にいかせればと思います。現役会員同士の連携はもちろんの事として、新体制となったOB会員の皆様、各他団体・政治家の皆様等の橋渡しになる様に精一杯務める所存です。担当する総務委員会においては、単に内容を消化するのではなく、新入会員が多く在籍する中で、ひとつひとつの意味を十分に理解させた上での活動を目指します。また会員の皆様から納入いただいた会費が、事業計画書(案)並びに収支予算書(案)通りに執行されているかどうかを、会計担当理事と共に厳格に管理する事を誓います。水会長のサポート役に徹するだけでなく、当会の大切な役職として確立すべく励みますので、一年間よろしくお願致します。

34期委員長抱負

政治行政委員会

茅野真一



今期の政治行政委員会の活動テーマは、従来の中央追従型の政治による様々な問題点を検証する。中でも「米子境港都市計画区域 線引きの見直し」の研究を中心に行い、街の活性化、地域への経済効果、人口流出の抑制を考察することと致しました。

歴代の政治行政委員会は行政に対し様々な提言をしてこられました。どれも赤字財政を理由とされ、実現していないのが現状です。そこで当委員会としては、従来の「予算」ありきではなく、「知恵」ありきの施策を打ち出そうと考え、行政の規制緩和に着目したいと考えました。また、少子高齢化・人口減少が大きな問題となっている中、どうすれば魅力ある街にすることができ、若年層の県外流出をくい止めることができるのかも考えていきたいと思います。

第34期水会長が打ち出されたテーマは『変革』Change the Concept、テーマはNeo Standard ~新時代のあるべき姿~です。一年間この基本方針を踏まえ、委員会活動を頑張っていきたいと考えます。

そして自分たちの活動の結果が、地域のため、未来の子供達のため、会のため、会員自身のためになることを期待しております。

ビジネス委員会

岩垣 樹



34期ビジネス委員会委員長を拝命しました岩垣です。今期のビジネス委員会は活動テーマを「人財と交流 ~商品価値を高めるために~」としました。

物売ることがビジネスですが、物売るのも買うのも「人」です。そして会社の経営資源には、「人」・「物」・「金」がありますが、この中で一番大事なのは「人」であると考えます。人の熱意に人が集まり、そしてビジネスが動いていくのです。

「人」という商品を今一度見直し、ビジネスの視点を「物」から「人」へ変え、「人」という商品の価値を高めることで所属会員企業の将来を無限にすることを活動の目標として、「人」という企業財産の能力向上、商品力向上のための活動を行いたいと思います。

また人と人の交流も人の財産となります。33期からの継続事業として安来商工会議所青年部との交流を、肩肘を張らない楽しいかたちで企画運営したいと思います。

さらに今期のビジネス委員会は会員拡大を担当します。1人でも多くの志ある仲間を増やし、今後の青年中央会の礎を築くことができればと思います。

1年間精一杯頑張る所存ですので、皆様のご指導とご協力をよろしくお願いたします。

広報委員会

松本誠二



みなさんよくご存知の通り、「広報」とは”Public Relations”(PR)という英語の訳語です。鳥取県西部の地域社会に、私たち青年中央会の活動を理解してもらい、良い関係=信頼関係をどのようにして築いていくかが、要(かなめ)なわけなのです。そんな大切な役職の責任者に、私のような人間が選ばれても良いものなのかと、いささか体が震える気分ではありません。

ただ、思い起こしてみれば学生のころから文章力以外で他人から誉められたことがなく、また心から魅了された人や物を薦める(=PR)するのが、死ぬほど好きだったりもしますので、ある意味「適任」と言えなくもなさそうです。ちょっと強引でしょうか？

当会きっての才賢で知られる桶村副会長をはじめ、近年稀にみるほどガッツに溢れる委員会メンバーに恵まれ、年度初めからしあわせな気持ちでいっぱいです。みなさんの予想は裏切りつつ、期待にはしっかりと応える、そんな広報活動をやっていると思っていますので、どうかよろしくお願いたします。

会計担当理事

佐々木雅彦



第34期会計担当理事を務めさせていただきます佐々木です。

昨年度の委員長に引き続き、入会して5年目をむかえます今年度は、中央会全体の会計に責任を持つ立場になりました。身の引き締まる思いと共に、早急にご指導を仰ぎながら会計体系を把握いたしました。会員皆様がお納めいただいた大切な会費が事業計画通りに執行されているかどうかをチェックできればと思っています。

皆様の御協力が必要になることが多々あるとは思いますが、私自身がスキルアップをすることにより信頼をしていただける会計担当理事になれるように、そして当会の会計が親会から財政的に自立した体系になることを目指しまして一年間頑張っていきたいと思っています。

最後になりますが、会費の「期限内納付」の程、宜しくお願申し上げます。

第33回 平成20年度通常総会



平成20年度通常総会が開催された。冒頭中田会長より「伝統とは心を伝えるもの。33期の心は伝えることができた。自由な発想と大胆な行動で野武士の如く活動して34期も力を発揮してもらいたい」と挨拶があった。

続いて、新入会員の長尾寛生会員にバッジ・手帳の授与が行われ、「微力ながら中央会活動のお手伝いをしたい」と抱負を述べた。

議事に移り、この度卒会を迎えられる山口英俊会員の進行のもと、第1号議案「平成19年度事業報告ならびに収支決算承認の件」、第2号議案「平成20年度事業計画ならびに収支予算書(案)承認の件」が満場一致で承認された。

続いて、中央会への多大な貢献に対する感謝の意を込めて、福田一哉会員(平成18年度会長)と釜田公文会員(同年度県会長)に感謝状が送られた。

皆勤賞(20名)、精勤賞(26名)の表彰が行われ、皆勤賞受賞者を代表して森田篤会員、精勤賞受賞者を代表して安岡是紀会員に記念品が贈呈された。



その後、中田会長より恒例の優秀委員会の発表が行われ、印象に残るイベントを開催された会員力委員会が優秀委員会に、マグロパーガーを開発された地域ビジョン委員会が最優秀委員会に選ばれ記念品が贈呈された。受賞された委員長から挨拶があり、1年間の精力的な活動に対して会場からは盛大な拍手が送られ、33期の活動を思い返すとともに34期に向け気持ちを新たに、総会は無事閉会となった。



(野口)

卒会式

通常総会に引き続いて第33期卒会式が行われた。

まず、9名の卒会者の紹介、卒会証書と記念品授与の後、中田会長が「長い間ご苦勞様でした。中央会の中心として活躍されており嬉しい反面悲しさもある。今後も現役をご指導いただきたい。おめでとうございます。」と祝辞を述べられた。

続いて、卒会者を代表して植田会員と花園会員にご挨拶いただいた。植田会員より「会員の個性的な経営、活動が刺激になった。個性を出しながら今後も活動していただきたい。」、花園会員より「いい経験を多くさせていただいた。中央会が好き。今後も交遊関係を続けていきたい。」と挨拶が

あった。

最後に、卒会者を代表して木下会員から中田会長に記念品が贈られた。

卒会者の皆様の益々のご活躍をお祈りしております。本当に長い間ありがとうございました。

(野口)



懇親会



総会・卒会式に続いて、多数の来賓・OBにも出席いただき懇親会が盛大に開催された。

第34期水康徳会長が「今年度スローガンは『変革』。既存の価値観、体制、仕組みを見直して新しい時代のあるべき姿、新たな基準を勉強して考えていきたい。不断のチャレンジ精神を持った行動力、俯瞰的な視点で物事が判断できる分析力、新たなことを思いつく発想力を持った中央会会員と1年間研鑽して参りたい。」と決意を述べられた。

来賓の挨拶の後、乾杯で懇親会がはじまり会場の至る所で会話が弾んでいた。その後、卒会者紹介、新入会員紹介、トライアスロン壮行会等が行われ、中締め挨拶で懇親会は閉会し、最後は卒会者を胴上げして送り出した。(野口)



第28回トライアスロン感想

実行委員長 福田一哉



いただけたと思います。

私も、現役最後のトライアスロンと気合を入れておりましたが、実際始めてみると、既に現役ではなく、OBとして最初のトライアスロンだということに気づいた訳ですが、ともかく現役の皆さんと一緒にボランティアを出来るだけ

みなさん、お疲れさまでした。

久しぶりに、青い空の下でのトライアスロン。体はヘトヘト、心は充実という、トライアスロン独特の満足感を楽しんで

で、少し幸せな気持ちでした。

この度は、トライアスロン協会の部長が突然の辞任というアクシデントもあり、皆さん（特に新入会員の方）には、色々設営の面でもご面倒をお掛けする結果になりました。またAS部では、他団体との絡みもうまくいくな？と、懸念されましたが、中田直前会長が言われる通り、オール中央会で乗り切ることができました。

ボランティア部、マラソン部、AS部、そしてその他の部署で頑張りきった皆さんに、もう一度、大きなエールを送りたいと思います。

そして、頑張りきれなかった私からは、一言お詫びを申し上げたいと思います。

トライアスロン大会を終えて

ボランティア部 部長 松江智雄

今年の大会は久しぶりにとても暑い一日となりました。昨年より東山競技場をゴールとして、少しずつですが鳥取県西部全体の大会と意識してくれるようになってきたと感じています（特に米子市民）。

年明けより、中央会の中でも大会に対する取り組みが始まっていき、中田会長より「オール中央会で行こうじゃないか」との想いがあって各部の垣根をこえて協力しあって進んでいきました。

自分自身このボランティア部に入って8度目の夏、部長を務めさせていただいて初めてボランティア部の運営の大変さを感じました。この頼りない部長を支えてくれたのが会員の皆さん、そして外部から参加して下さった一般のサポーターの皆さんでした。

大会当日、選手の皆さんは、御家族を始め大会スタッフや一般ボランティアの皆さんに支えられていました。私たち中央会スタッフも、従業員や家族の協力無しでは運営していく事が出来なかったのは言うまでもありません。あらためて、この大会は人と人が支えあって成り立っていくんだと感じられました。

この地元から全国に発信していける大会を、いつまでも続けていかなければならないとともに中央会もささえていかなければいけないと思いました。

AS部 部長 花園直樹

「最後にイイ汗かかせて頂きました。」ホッとした気持ちで今この原稿を書いています。これを以って中央会現役会員としての私の全ての仕事を終了させていただきます。次に皆様にお会いする際にはOBとして大切に扱って下さい…とまあこれは冗談にしても最後の最後まで人使いの荒い会でした（笑）。

今年の大会は久しぶりに好天（と言うより酷暑でしたが）に恵まれ、暑いのが大好きな私としては大いに盛り上がったのですが参加選手を始め、何度も炎天下のポイントに立って下さったAS部員の皆様は大変だったであろうと思います。それでも嫌な顔ひとつせず（チョットした？）働いて下さった皆様には厚く御礼申し上げます。有り難うございました！！

またAS本体の運営に関しては境二中の生徒さん達、麦垣町青壮年会の皆様の多大なる御支援を賜り誠に感謝致しております。そして本体だけで60余名にもなった巨大エイドを切り盛りして下さった桶村副会長。改めて彼女の采配センスに頭の下がる思いです。最後に各委員会AS部代表者の皆様、皆様のご尽力が有ったからこそ当日私が好き勝手に動く事が出来ました。その豊富な知識と経験はもはやAS部の財産であります。ぜひ後進に伝えて頂きたいと思います。

「中央会」と「皆生トライアスロン」。会員各々様々な想いが有ると思います。取り組み方は今後変わって行く事もあるでしょうが悪くない組み合わせです…

マラソン部 部長 須山裕文

今回、マラソン部の部長をさせていただきました須山です。マラソン部メンバー、そして各部の皆さん本当にお疲れ様でした。猛暑の中でのボランティア、本当に大変だったと思います。

大会前から、結果より過程にこだわって参りましたが、自分自身納得のいく活動ができたことに満足しています。また、オール中央会でひとつのものを作り上げる感動を皆さんと味わうことができたことは、非常に心地良く感じられました。何よりも終わった後の皆さんのすがすがしい顔を見て、何事も本気で取り組めば、素晴らしい結果と何ともいえない達成感を得ることができると実感できました。これは日々の私達の仕事、そして中央会活動においても同じことがいえるのではないのでしょうか。

今回、マラソン部長という立場でこのような貴重な経験をさせていただいたことは、これからの自分の人生において大切な宝物になったと思っています。部員の皆さん、各部の皆さん、本当にありがとうございました。そして、本当にお疲れ様でした。

トライアスロン参加選手感想

宮崎大介選手

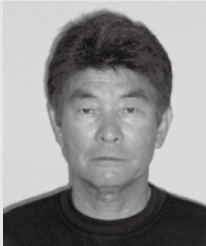


3年ぶりに暑い皆生が返ってきました。スイムはすごいウネリの中、なんとか陸に上がり得意のバイクで、ガンガン飛ばしました。暑さは最高潮で、“こんな皆生は久しぶりだな”とまだ余裕がありました。中山折り返し付近でY氏と遭遇！タイム差おおよそ15分。少しペースを上げました。結局バイクでは追いつけずランに突入。N井脩前でO氏が“Y氏が10分先におるぞ！”と声をかけくださり、少し詰めてきているのかな？と感じながらも暑さにやられ、意識ももうろうとして走りました。背中が見えたのは、鉄鋼団地あたりで、一気に意識が回復！ペースを少しアップしました。そしてついに、431に入る手前でY氏をとらえ、一気にペースを上げました。抜いた喜びもあり、しばしそのペースで走れましたが、すぐにペースダウン、そっからが地獄でした。はっきり言って、ここからはあまり記憶がありません。暑さや痛み、胃痙攣や脱水症状、あらゆる事がやってきました。ランは気力のみで走ったという感覚で、今思い出しても、よくゴールまでたどり着けたな～というくらい、体力限界でした。でも、Y氏より先にゴールし、なんとか西部の面目を保つことができて今はホッとしています。

OBを訪ねて

『トライアスロン参加選手にOBを発見！』

～山本博義選手～



- Q 1. まずは、鉄人レース参加のきっかけからお話頂きたいです。
- A 1. 13期（昭和62年）卒会の記念としてトライアスロン出場を決意し、卒会当時の同じ委員会の野嶋君、雑賀君と出場致しました。
- Q 2. 思い出に残るレース内容を教えてください。
- A 2. スイムが苦手ですが、初出場である第8回大会のスイムが中止となりました。天気が自分に味方してくれたお陰で完走できた事を思い出すと共に感謝しています。
- Q 3. レース中に挫けそうになったとき「自分の気持ちを盛り上げる言葉」や「座右の銘」とかありましたら教えてください。
- A 3. レース出場は、日々の練習の積み重ねなので、「継続は力なり」がモットーです。
- Q 4. 山本OBにとってのトライアスロンとは？
- A 4. 「人生」 一生トライアスロンをやりたい。
- Q 5. 最後に現役会員にメッセージを頂けると幸いです。
- A 5. 現役会員の皆様に声援を頂きましたが、バイクが数分のタイム不足で終了となり不完全燃焼の今大会でした。次回の大会には完走目指して頑張りますので応援宜しくお願いします。



新入会員 トライアスロンに参加して

volunteer

谷口弘毅

新入会員の私が、初めて体験したトライアスロン大会は、汗で始まり汗で終わる大会でした。プライベートでも親しくしてもらっている宮崎会員を、壮行会の応援団長としてエールを贈れた事は、とても嬉しい事でした。ただ無我夢中で応援をしている時は良かったのですが、終わってからは、とても恥ずかしい汗が噴き出てきました。後、最後に撤収作業、備品倉庫で流した大量の汗は、高校時代の部活動を思い出す体育会系の気持ちのいい汗でした。

野口浩一

初めてトライアスロン皆生大会に参加しました。これまでは何気なく外から大会を見ていたのですが、実際に自分がボランティアとして参加して「皆生のトライアスロンはこんなに多くのスタッフとボランティアが支えているんだ」と驚きました。ポイントに立っているだけで意識が薄れていくような強烈な日差しと暑さでしたが、選手のみなさんの気力・体力や中央会の団結力も改めて実感することができて充実した1日を過ごせました。

高塚康治

魂が奮えた。トライアスロンをなめていた。

人生初のボランティアを経験した私だが、とにかく暑い、いや熱い！！

熱い鉄人たちの人間ドラマを目の当たりにし、元来クールでならしている私の心が刺激され、眠っていた熱い魂が呼び起こされたようだ。

13年前、夢中で白球を追いかけ甲子園を目指した、あの熱い「あきらめない夏」がよみがえり、自分も「どげんかせんといかん」衝動にかられた。ありがとう、トライアスロン！！

田中健雄

今回、初めてトライアスロンのボランティアに参加させて頂き、市民の森ASの配置箇所にて選手の誘導と応援をさせて頂きました。長尾会員と協力して、選手のゼッケン番号から名前を調べて、選手の個人名を叫んで応援できた時間帯がありました。個人名を大声で叫ぶと、ほとんどの選手が疲れてるにも関わらず、手を振って返事をしてくれたことが嬉しかったです。残りの時間帯は、酔いと疲れで気の抜けた応援になってしまいましたが。(汗)

門脇弘樹

今回初めて、皆生トライアスロンにボランティアという形で参加させていただき、すごく充実した1日をおくることができました。

僕は、市民の森ASの手伝いやポイント立ちが主な作業でしたが、猛暑の中1歩1歩必死で走る選手や、汗だくになりながら選手に水やジュースをわたす中学生の姿など、すごく新鮮で感動的でした。そして自分の目で見て感じたことを忘れることなく、これからの生活に活かしていきたいと思いました。

最後に、皆生トライアスロンに参加された選手・ボランティアの方々本当にお疲れ様でした。



第34回鳥取県青年中央会総会開催

平成20年7月23日(水)、鳥取市のホテルモナーク鳥取に於いて、鳥取県中小企業青年中央会の第34回総会が開催された。



西部地区からの参加者は水会長、中田直前会長を始め、副会長、各委員長、新入会員39名。総会は、田中19年度県会長の挨拶に始まり、その中で平成19年度の活動をふりかえられ、東・中・西の『共感』をテーマに一年間活動してきたこと、また、鳥取県の団結・活性化のために戦っているガイナレ鳥取と交流が出来たと統括するお言葉があった。その後議案審議が行われ、小椋新県会長を始めとする新役員(西部からは水会長の他、理事3名、監事1名が選出)、平成19年度収支決算書ならびに平成20年度の収支予算書が、満場一致で承認された。平成20年度の事業計画はその基本方針を『学ぶ』『未来へ継承』とし、具体的には ①教育 ②情報 ③親睦交流 ④視察研修 ⑤教育関連 ⑥懇談会開催事業 ⑦要望・提言の7つの事業を柱として活動を展開してゆく事になった。その後、新役員の紹介が行われた。



小椋新会長を始め、新役員の方には一年間思う存分活躍していただき、鳥取県青年中央会の「柱」としてがんばって頂きたい。



通常総会閉会后、同会場にて平井県知事を始め多勢の来賓をお迎えして、懇親会が開催された。最初に県会長の鍵の引渡式があり、田中丸から小椋丸への引継が無事に行われた。小椋新県会長から「県青年中央会は交流親睦の場にしていきたい。そして県青年中央会はアウトプットして欲しい」と力強い初心表明があった。その後会長の楯の贈呈、アトラクションの各テーブルごとのスイカの早食い競争



では、東・中・西が一致団結して大いに盛り上がり、県総会全日程を終了した。

(竹中)

新入会員

(総務)	なが おとも なり 長尾 寛生	AB型 工場長
	ステンレス工機(株) 工場長 ステンレス加工 全般 〒689-3553 西伯郡日吉津村日吉津212 TEL 27-3288 FAX 27-0034 (KT) 090-7120-4307 (EM) t.o.m.o.1021vww@docomo.ne.jp S.46.10.21生	

〈コメント〉この度西部青年中央会総務委員会に入会させていただきましたステンレス工機の長尾寛生です。会の事は右も左も分かりませんが、諸先輩方の力をおかりして自分自身一回りも二回りも大きくなれる様にがんばっていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

8月役員会報告

8月定例役員会が平成19年8月1日(水)、米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・7月通常総会・卒会式・懇親会報告の件
- ・8月例会の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご参照ください。

8月例会案内

と き：平成20年8月18日 19:00~21:00
 場 所：米子全日空ホテル 飛鳥の間
 講演：『私の体験談』
 講師：航空自衛隊美保基地司令 野口盛隆氏
 担当：役員

編集後記

今回の広報誌から、34期広報委員会が担当しております。初めての編集にドタバタですが、松本委員長の年間事業や、副会長とのやり取りを見る限り、かなり破天荒で楽しい委員会になりそうです。

さて、今年度の初めに水新会長の裏顔を探ってみようと思い、食べることは生きること『食』に関して、勝手にインタビューしてみました。しかし、好きなものと言えば「うーん、特に思い浮かばないな。若い頃好きな食べ物は、ストレートに『肉』と言えたんだけど。最近はさっぱりしたものの方が・・・」食に関してこだわりや好き嫌いは無く、出された物を美味しく食べるとのこと。突っ込んで聞いてみても、「飲んだ後、深夜1時頃に食べるT園の揚げそばが好き」とのことで、なかなか会長の人物像は見えてこない。しかし、最後に「やはり職業柄、苦い珈琲に合う甘い物は大好き。某G会員のローソンでは、必ずハーゲンダッツの新商品をチェックするよ。コースの最後に、アイスが出ると必ず完食する」とのこと。



苦い珈琲と甘い物を愛する水会長。それを受けて、思い出した有名な名言をひとつ。「あなたの心の庭に忍耐を植えよ。その根は苦くとも、その実は甘い。(J・オースティン)」そろそろ今年の委員会活動も本格始動。大変な事も多いですが、楽しい委員会活動。最後に苦くて甘い最優秀委員会を取るの、どこの委員会でしょうか？

(藤本)